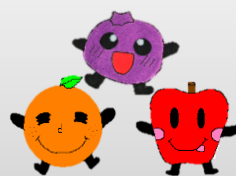


令和8年4月30日

# 築 さかもと



ささえあい、かんがえあい、もっとふかく、ともにまなぼう  
横浜市立坂本小学校 校長 松比良 聡夫



## ちがいを認め合う関係に

しんねんど はじ あたら であ かか ひろ この じき だからこそ、  
子どもたちに大切にしてほしいことがあります。それは、  
「多様な他者を尊重すること」(みんなちがって、みんないい)です。



わたし まわ かんが かつ かん かつ とくい にがて ひと  
私たちの周りには、考え方や感じ方、得意なことや苦手なことなど、さまざまなちがいをもつ人が  
います。一人ひとりが異なる背景や個性をもっているからこそ、学校は豊かで学びの多い場所になり  
ます。一方で、ちがいがあるからこそ、戸惑いや行きちがいが生じることもあります。

そのようなときこそ、「自分とちがう」ことをすぐに否定するのではなく、「なぜそう考えるのだろう」  
と相手の思いに目を向ける姿勢が大切です。相手の立場に立って考えることで、新たな気づきや  
理解が生まれ、自分自身の成長にもつながっていきます。

また、互いのちがいを認め合うことは、誰もが安心して過ごせる学校づくりにつながります。「自分  
らしくいてよい」と感じられる環境の中で、子どもたちはのびのびと力を発揮することができます。

一方で、「みんなちがって、みんないい」とは、「何をしてもよい」という自分勝手な状態を指すもの  
ではありません。よくないことはきちんと正し合い、「分からない」「間違えた」「反対だ」といった思い  
を伝えても、笑われたり対立したりすることなく、互いに真剣に聞き合い、話し合えることこそが、安心  
して学び合える集団ではないでしょうか。

ほんこう ひび がくしゅう せいかつ なか あいて おも ことば たが き あ  
本校では、日々の学習や生活の中で、相手をおも「ふわふわ言葉」や、互いに聞き合い、  
伝え合う活動を大切にしていまいます。ご家庭におかれましても、お子様との会話の中で、さまざまな  
価値観に触れたり、相手の気持ちを考えたりする機会を大切にしていただければ幸いです。

これからも、子どもたちが互いを尊重し合い、安心して学び合える学校を、家庭や地域とともに  
築いていきたいと考えております。今後とも、皆様のご理解とご協力、そしてご意見をよろしく願  
いたします。